

目標達成計画

作成日: 令和2年 4月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関に施錠がされ、共用空間につながる引き戸も施錠がされている。利用者が外に出る希望をされた時に支障をきたしている。圧迫感を感じる。	利用者からの訴えだけでなく、言えない方の想いも聞けるよう、自由な生活が送れるように工夫をし支援をする。	玄関から共有空間の引き戸の、常時開放を日中の時間帯の短時間から行き、段々と時間をのばしていく。	直ぐに
2	26	定期的な介護計画の作成と見直しは実施できているが、些細な変化も盛り込み随時の介護計画の見直しが必要である。	些細な変化にも配慮し、毎月のモニタリングを基に現状に合った介護計画の見直しを行う。	毎月のモニタリングと職員会議を活用する。小さな変化にすぐに対応できるように毎日のミーティングにおいて計画の見直しを検討する。	直ぐに
3	35	災害対策として数種類の食料品と自主避難訓練の実施を行う必要がある。	職員と利用者がスムーズに避難できるように自主避難訓練を増やし、災害備蓄用の飲食用料を用意する。	毎月自主避難訓練(昼間想定・夜間想定)を交互に行い、全員の職員がスムーズに避難誘導できるように行う。災害用の備蓄は、利用者の食べやすい物、温かい物も用意し、利用者、職員分の数日分を用意する。	1ヶ月
4	44	入浴を楽しむことができるよう、希望時の入浴の提供が求められるが、現状は利用者ごとに曜日設定を行い、決められた曜日での入浴となっている。機械浴の方にも希望を聞くことも必要である。	曜日や時間、個人の希望に応じた入浴の提供を行う。	決められた曜日以外でも、声掛けをし利用者の要望に応えられるようにする。機械浴の方にも本人に希望を確認し安全に入浴できるよう支援する。	直ぐに
5	49	日常的に散歩や外に出る機会が少ない。家族との外出以外にも、外気浴や気分転換を図る為に外に出る機会を設ける必要がある。	日常的に外出ができるようにする。	日常的に散歩に出て季節を感じられるようにする。日々の生活に必要な物の買い物に利用者と一緒に外出できるようにする。	直ぐに

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。